

商品先物取引市場の現状と今後の展望

マッキンゼー・アンド・カンパニー・インク・ジャパン

シニア・アドバイザー 川本 裕子

マネージャー 岩田 林平

目 次

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| はじめに | 4. 日本の商品先物取引が低迷している理由 |
| 1. 拡大する商品先物取引 | 5. 日本の商品先物取引市場の改革に向けた動き |
| 2. 激化する各国の商品取引所間の競争 | 6. 日本の商品先物取引市場成長のための着眼点 |
| 3. 日本の商品先物取引所の現状 | 終わりに |

原油や穀物などの商品相場の上昇、および機関投資家やヘッジファンドの積極的な市場参加を背景に、世界の商品先物取引は近年急激な成長を見せている。一方で、日本の商品取引所の出来高は2003年度のピークと比較して06年度は45%減少しており危機的な状況を迎えている。日本の商品先物取引市場の成長のためには、改革マイノリティを持ち、取引ルールやインフラを整備し、信頼感のある市場形成を一刻も早く成し遂げることが必要である。

はじめに

近代的な商品先物取引は日本で始まったと言われている。大量の米生産とその売買市場の存在を

背景に、1730年、江戸幕府が大阪の堂島米会所に米の先物取引を許可したことが起源とされ、ここに取引所が会員制として正式に発足した。取引形態は、一定の手付金で売買契約を結び、将来一定



川本 裕子 (かわもと ゆうこ)

東京大学文学部卒業、オックスフォード大学大学院経済学修士修了。東京銀行（現・三菱東京UFJ銀行）を経て1988年マッキンゼー東京支社入社。金融機関を中心に企業経営のコンサルティングに従事。93年MGI（在ワシントン）にてグローバル資本市場プロジェクト参加、95年—99年パリにて勤務。2004年より早稲田大学大学院ファイナンス研究科教授。



岩田 林平 (いわた りんぺい)

1996年慶應義塾大学経済学部卒業、同年三和銀行（現・三菱東京UFJ銀行）入行。99年—2001年日本輸出入銀行（現・国際協力銀行）出向を経て、発展途上国向け融資、欧米企業の審査業務に従事。05年より現職。05年ノースウェスタン大学ケロッグ経営大学院修了（MBA）。